

【幸福度に関して】

2017/12/11 山本明夫

1. 幸福度の定義

今回は、前回より少し視点を広げて、官および学による幸福度の調査・研究についてコメントしたいと考える。用いた主な文献は文末に示す6つで、幸福度については、2010年（平成22年）をピークとして、大竹・白石・筒井(2010)¹により「日本の幸福度」として単行本にまとめられている。

そもそも「幸福」とは、Happiness、Well-being（厚生・幸福・健康）、Life satisfaction（生活満足度）などの用語があり、主観的な要素が強いことが窺える。白石・白石(2006)²の幸福度の文献研究によると、幸福(Well-being)の定義は、表-1に示すようなものであり、本表の右下の「人々の心の中にある幸福」の生活の主観的な評価が幸福度にあたると考えられる。

表-1 幸福(well-being)の定義

	周囲の環境	個人の内部
良い生活のチャンス	生活環境の質	個々の生活能力
生活の実際の結果	生態系の保護活動、文化活動の推進	人々の心の中にある幸福 (生活の主観的な評価)

(Veenhoven(2003)³、白石賢・白石小百合(2006)を日本語化)

この幸福度についても、所得などの「客観的な幸福度」と、所得に対する満足度のようない「主観的な幸福度」に分けられると考えられ、白石・白石(2006)によると表-2のように整理される。現在の幸福度調査は、後述するように国、都道府県、市町村等も直接現在の幸福感を尋ねることが主に行われている。これは、表-2の右下の(4)主観的幸福度に当たり個人の性格や、回答時の心理状況などが影響することが考えられる。このため、従業員幸福度(employee happiness(EH))などのアンケート調査では、本表の(4)のみならず、(1)～(3)も含めてアンケート調査することが重要であると考えられる。

表-2 客観的・主観的な幸福度指標

幸福度を測定する対象	幸福度を測定する主体	
	他者、明確な基準に基づく測定	回答者自身の測定
所得等の客観的な対象	(1)例えば銀行口座の残高	(2)例えば自分で感じる富裕さ
幸福、アイデンティティ、信頼といったような回答者が答える主観的な対象	(3)精神健康状態に関するテスト結果	(4)主観的幸福度

(Veenhoven(2003)³、白石賢・白石小百合(2006)を日本語化)

2. 幸福度の調査事例

国が行っている幸福度調査の例としては、平成7年度(1995)から行われている国民生活選好度調査⁴がある。本調査の目的としては、「幸福感」や「新しい公共」に係わる国民意

識とともに生活全般や福祉領域に関する考え方に係わる長期的な人々の意識の変化を把握することを挙げている。図-1に「個人の幸福感の現状について」のアンケート調査票の一部を示した。個人の主観的な幸福感を質問すると共に、幸福度に関係する客観的な事象について質問を設定している。

個人の幸福感の現状について

問1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。(○は1つ)

n=2,790											
とても不幸											とても幸せ
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	
(0.5)	(0.6)	(1.4)	(5.2)	(6.3)	(22.0)	(12.8)	(20.0)	(17.7)	(6.2)	(7.2)	

問2 幸福感を判断する際に重視した基準は何ですか。あなたのお考えに近いもの上位2つに○をつけてください。(○は2つ)

n=2,788			
1	自分の理想との比較	(61.8)	3 過去の自分との比較 (34.2)
2	他人との比較	(27.3)	4 将来への期待・不安 (60.3)

問3 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) n=2,792

1	家計の状況 (所得・消費)	(62.2)	7	精神的なゆとり	(51.4)
2	就業状況 (仕事の有無・安定)	(35.5)	8	趣味、社会貢献などの生きがい	(22.6)
3	健康状況	(62.1)	9	家族関係	(61.3)
4	自由な時間	(34.3)	10	友人関係	(35.4)
5	充実した余暇	(24.2)	11	職場の人間関係	(14.3)
6	仕事の充実度	(21.5)	12	地域コミュニティとの関係	(10.2)

図-1 内閣府(2012) 平成23年度国民生活選好度調査
個人の幸福感の現状に関する調査票の一部

これらのように、主観的幸福度は、個人の心理状態にも影響を受けると考えられるため、幸福度の研究は、社会学、心理学、新しくは経済学にも及んでおり、今回紹介している文献1,2,6は、幸福度調査の観点からの経済学分野によるものである。この他に、プータンの国民総幸福度(GNH)に影響された日本GNH学会が設立されており、ジャーナル紙GNH(国民総幸福度)研究1~4も発刊⁵されている。

次に、地方自治体による幸福度調査の事例としては、2010年に辻(2010)⁶により調査されている。この調査の2010年の時点で、表-3に示す10件の地方自治体の幸福度調査が行われており、その他にもこの時点で20件以上の事例が確認されているとしている。また、辻(2010)の論文では、地域住民の幸福度は、住環境、商業性、インフラ、治安、コミュニティ(ソーシャルキャピタル)などの居住地域環境の影響を受けるのかという問題を検討している。

図-2が、辻(2010)が示しているアンケート結果による東京都区市町村ごとの主観的平均幸福度の結果である。東京都区部の下町低地部の幸福度が高いこと、多摩地域東部の東村山市~府中市にかけて幸福度が低いことなど、興味深い結果が示されている。

さらに、辻(2010)は、主観的幸福度を被説明変数とし、種々の個人属性要因と居住地域環境要因(市町村ダミー)を説明変数とし、主観的幸福度が種々の説明変数の一次結合で表

されるところとしたモデル（幸福度関数）で個人属性を補正した平均幸福度を算出している。この解析結果を図-3に示した。傾向は、図-2のアンケート結果の主観的平均幸福度と大きくは変化していないが、文京区と台東区の幸福度の値が図-2と図-3で逆転するなど、一般の常識からは疑問点も考えられ、幸福度と種々の属性との一次結合によるモデル化が、いかに難しいかを示す結果になっている。

以上のように国、地方自治体などの一般的な幸福度調査についてコメントしたが、幸福感を直接回答者に問う主観的幸福度は、個人の感情、心理状態にも大きく影響されるため、主観的幸福度を含めて、環境、生活状況等の客観的状況をアンケート調査し、それを含めて総合的判断をすること、また、国の国民生活選好度調査が、平成7年度～平成23年度まで17回実施しているように、長年にわたってアンケート調査を行いその変化をみることも、従業員幸福度(employee happiness(EH))の調査でも重要ではないかと考えられる。

さらに、前回のコラムで示した「働く場所での幸福度(Well-being at work)」の下記の文献は、従業員幸福度(employee happiness(EH))を考える場合、数少ない文献であり、今後その内容を検討して本コラムに掲載していきたい。

- a) <http://neweconomics.org/2014/03/wellbeing-at-work/>
NEF(New Economics Foundation) (2014): Well-being at work -A review of the Literature-

表-3 「幸福度」に関する地方自治体の取り組み（辻(2010)⁶による）

【都道府県・政令指定都市】		【区市町村】	
静岡県	同県では、次期総合計画の「富国徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン」(案)に関して、現在、パブリックコメントを募集中である。同総合計画の基本構想(案)の柱の一つとして、「IV 県民幸福度の最大化」に向けた重点取組を明確に掲げている。	東京都 荒川区	荒川区では、2007年3月に「荒川区基本構想」を策定。同構想の中で「幸福実感都市あらかわ」をビジョンとして掲げ、区民が幸福を実感できる街を目指している。住民の「幸福度」を指標化する研究会を昨年11月に発足、2011年末のとりまとめを目指している。
京都府	京都府知事・山田啓二氏がマニフェストとして、「しあわせ実感 希望の京都をつくる」を作成し公約。府民満足最大化プランに従い、それを「京都指標」として公開した上で、地域主権時代にふさわしい政府を推進するとしている。	大阪府 柏原市	西日本で初めて、GNH(グロス・ナショナル・ハピネス)の考え方を取り入れ、GNHの「N」を柏原の「K」に置き換え、柏原市民のGKH(グロス・カシワラ・ハピネス)＝総幸福度を高めていくことをまちづくりの理念として掲げている。市はこのほど、まちづくり戦略会議にワーキンググループを設置。
福井県	福井県総合政策部政策推進課が、報告書「ふくい2030年の姿II—私たちの暮らし、つながる希望と幸福—」(2009年3月)をとりまとめ、「地域の幸福度(QOC)」を福井人が共有する指標として位置付け、その活用・推進を提案。	千葉県 柏市	柏市都市計画マスタープランを2009年6月にとりまとめた。同プランの総合的な成果指標として、「トータル指標：住みよさ市民満足度(幸福度)」を採用している模様。
熊本県	平成20年に「くまもとの夢4か年戦略」を策定(平成23年までの県政運営の基本方針)。同戦略では、県民総幸福量の最大化に向けて、稼げる県をめざす「経済上昇くまもと」、長寿を恐れない社会をめざす「長寿安心くまもと」、誇りと愛着の持てる「品格あるまもと」、夢のある教育などの「人が輝くくまもと」の4つの分野で取り組むとしている。	島根県 海士町	第四次海士町総合振興計画として、「島の幸福論」をとりまとめた。今後10年かけて島ならではの幸せを追求し、住民一人一人が幸福を実感できる社会(「幸せを実感できる島」)を目指すとのこと。同計画の中で、海士町が目指す幸福の指標を定義し、目標達成を目指す模様。
さいたま市	平成21年に市長が示した「さいたま市民しあわせ増進計画」を市の計画として位置付け、日本一しあわせを実感できるまちを目指している。そのアクションプランとして「しあわせ増進プラン2009」を策定し、同プランの実現を、市政運営の最優先事項として位置付け、最小の経費で最大の効果を上げることが基本としている。	岡山県 瀬戸内市	瀬戸内市のまちづくりの指針となる第2次総合計画(2011～21年度)策定に向け、2010年7月26日に市総合計画審議会の初会合があり、武久顕也市長が「人と自然が織りなす幸福実感都市瀬戸内」を将来像とする素案を諮問。

※a (各地方自治体の公表資料よりみずほ総合研究所作成)



図-2 東京都区市町村別の平均幸福度（アンケート結果）

※b(みずほ総合研究所委託調：(調査実施会社：マイボイスコム株式会社「地域住民の幸福度調査(2010年8月実施)」)

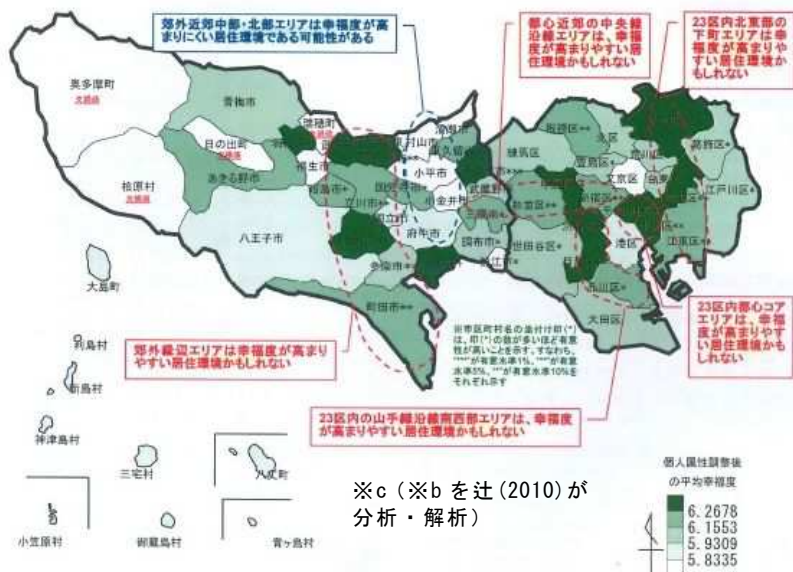


図-3 東京都区市町村別の個人属性調整後加重平均幸福度（幸福度関数による解析結果）

※c(※bを辻(2010)が分析・解析)

【文献資料】

- 1 大竹文雄・白石小百合・筒井義郎 編著(2010)：日本の幸福度-格差・労働・家族，日本評論社，pp.1-284.
- 2 白石賢・白石小百合(2006)：幸福度研究の現状と課題-少子化との関連において，ESRI Discussion Paper Series No.165.
- 3 Veenhoven, R. (2003): Subjective Measures of Well-being, Chapter for Mark McGillivray Ed. 'Measuring Human Well-being', WIDER Ver.3, Sept. 3ed.
- 4 内閣府(2012)：平成 23 年度国民生活選好度調査，<http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10361265/www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/senkoudo.html>.
- 5 日本 GNH 学会(2013, 2014, 2016, 2017)：GNH（国民総幸福度）研究 1～4.
- 6 辻隆司(2010)：「幸福度」は地域政策の検討に役立つのか，みずほ総合研究所株式会社 Working Papers 2010 年 12 月 13 日発行.